令和２年６月10日発行

囲碁入門講座通信　令和２年 第９号

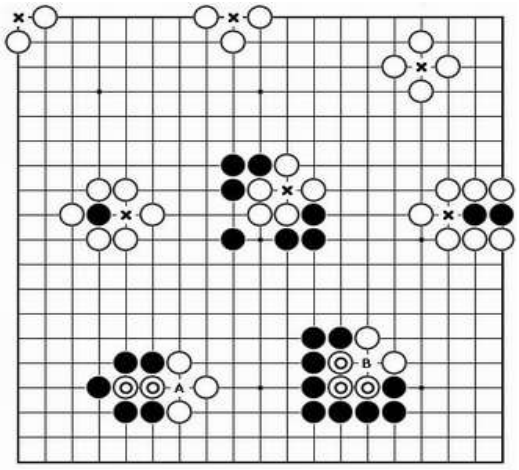
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後１時半から午後４時ごろまで、朝日２丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、現在休局中です。　(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号も、入門者用の練習問題を少々ご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかぐら)師匠)

着手禁止点とコウ

囲碁には①打ってはいけないところ(着手禁止点)と②すぐに取り返すことができない(コウ～同形反復の禁止)があります。今回はそれらについて簡単に説明をいたします。

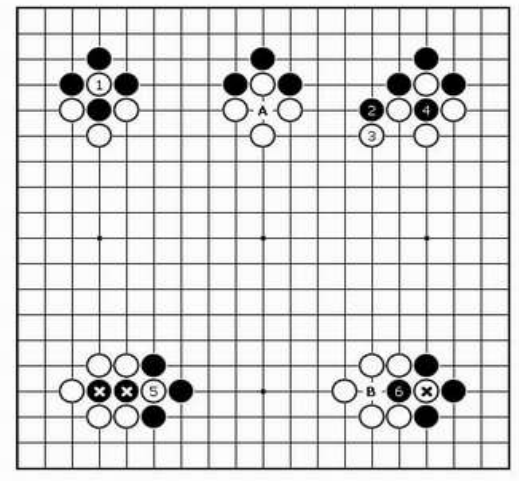


①打ってはいけないところがある（着手禁止点）

上段・中段（黒番）　上段、中段の６つの図は黒の立場で打ってはいけないところを示したものです。×印の地点に黒石を置くと、そのままで取られた形になります。このような場所は着手禁止点となります。ただし、次のような例外があります。

左下（石が取れる場合）　黒Ａと打つと白◎２子が取れます。このように石を置くことによって相手の石が打ち上げられるときは、打つことができるのです。

右下（同様）　この場合も黒Ｂに打つと白◎３子が取れます。だから着手禁止点ではありません。



②コウはすぐに取り返すことができない(同形反復の禁止)

上段左　白が１と打って、黒１子を取りました。つづいて

上段中央　黒はすぐにＡと打つことはできません。お互いに続けて石を取り合うと未来永劫、碁は終わりませんね。これをコウといいます。漢字は永劫の「劫」です。

上段右　コウになったら、いったん別のところに打たなければならないのがルール。たとえば黒２のように近くを打ってもよく、もちろんまったく別の箇所に打ってもかまいません。白が３などと受ければ、今度は黒４と取り返すことができます。黒２と打たれたとき、白がコウ争いをしたくないと思えば、白３で４とついでコウは解消となります

左下（２子の場合）　このような形で白５と×印の黒を取られても、上段と形は違います。

右下（コウにあらず）　黒石を抜いた形には、Ｂのすき間があります。だから、黒６とすぐに取り返すことができます。

問題は、囲碁上達法(無料講座)より引用しました。次号は６月20日発行予定です